

「糸満市立認定こども園在り方計画 今後の方向性に関する素案」に関する保護者説明会 Q & A

日時：令和3年10月13日（水）19：00～20：00

場所：兼城こども園

質問（意見）の内容		回 答
公立園と公私連携園の違いについて	1	公立園と公私連携園とは、具体的な違いはありますか。また、公私連携園の場合、保育の基準は公立と民間のどちらになりますか。 違いについては、兼城こども園は市の職員が働いており、市の直営です。公私連携園に移行している光洋こども園は市の施設を法人に貸し出しており、法人に運営していただいています。 基準については、公立や民間に関係なく、認可施設の基準については市の条例ですべて決めており、安全性の基準や保育料についての差はありません。しかし、法人が運営する園には徴収費があり、例えば給食や教材費などは園に裁量を与えられています。
	2	<u>公立存続を希望する保護者・関係者が、公立を選ぶ理由は感覚の問題なのでしょうか。</u> 具体的に公立園と公私連携園では、どう違うのかを確認されたのでしょうか。 <u>個人的には、今話聞いた感じだと、公立こども園にこだわらなくてもいいのかと思いました。</u>存続を希望される方々の感情的な意味が強いのであれば、きちっと説明していくことが課題かと思います。 公私連携園に関しては、移行園・移行時期の決定後に公募を行います。当然、基本の教育・保育に加えて、これまで公立で培ってきた部分を引き継いでいただき、その条件で選定された法人と協定という契約のようなものを交わします。条件が守られない場合、指定を取り消すことも可能です。ただし、付加価値のあるものに内容変更したい場合、保護者の同意を得た上で変えることは可能です。 （補足）2017年に改正された幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育保育要領という国の教育・保育の基本があり、細かいところは地域の特異性に合わせるということから、糸満市としては幼児教育アクションプログラムであったり、小学校への接続を担う幼小連携事業等を通して、スタートプログラムであったり、そういったものを設けて研究をしているところです。 また、その中で小学校に就学するまでの間に身につけて欲しいとか、育てて欲しい10の姿というものが示されており、そこに関しては市内のどの施設も一緒です。それについては、①健康な心と体、②自立心、③協同性、④道徳性・規範意識の芽生え、⑤社会生活と関わり、⑥思考力の芽生え、⑦自然との関わり・生命尊重、⑧量・図形、文字等への関心・感覚、⑨言葉による伝え合い、⑩豊かな感性と表現 ということ、関わる人、保育教諭、あるいは園長も含めて、そういった所をしっかりと日々の保育・教育の中に展開していくことが求められます。
	3	公私連携園に移行した場合、各歳児の定員数は変わりますか。 移行前の条件より下回るような公募は行わないと考えております。やはり不利益を与えるような選択をさせてはいけないと考えておりますので、応募した法人が対応できない話になりますと、場合によっては選定作業を全部流す判断になると思います。公私連携園の件ではありませんが、過去にそういう公募方法をして、全部流れてしまったケースも聞いていることから、仕方なく妥協する考え方はありませんので、ご安心いただきたい。
	4	公私連携園に移行した場合は、毎年、先生たちは一緒なのか。それとも人事異動で変わることもあるのか。 運営自体が、社会福祉法人もしくは学校法人になりますので、人事のことについては、基本的に法人が判断することになります。しかし、指定される法人については、すでに認可施設を運営されている法人になると思いますので、そういった施設を複数運営していることになりますから、その中の一つに公私連携園が入ってくると考えております。 公立の場合は3～5年ほどで先生方が異動しますが、それについては、選定される法人の方針によって差があると思いますので、異動の有無については、現時点で確定的なことは申し上げられません。

質問（意見）の内容		回 答
給食について	5 糸満南こども園、西崎こども園は、給食にケータリングを利用されていますが、誰がどこで作っているのか教えてください。	固有名詞を控えさせていただきますが、両方とも豊見城にある施設で作って運んでいただいております。ケータリング業者の栄養士が市に献立の提案をし、市の栄養士もチェックしながら対応しております。 しかし、ケータリングですので細かいアレルギー対応は非常に難しく、兼城こども園のように自園調理であればもう少し柔軟に対応できると考えおり、両園の説明会の中でもご指摘がありました。 どうにか柔軟に対応できるよう、例えば自園調理に持っていけないのかとか、あるいは、公私連携園を移行する際に造れないかというご質問がありました。しかし、指定される法人の対応によって変わる為、近くの母体となる施設から搬入できる可能性もありますし、ケータリングのままになるかもしれません。仮に、兼城こども園が移行するのであれば、自園調理の施設を持っておりますので、それが引き継がれると考えています。ちなみに、光洋こども園はケータリングを利用しております。
移行の園お・知移行せ時期について	6 移行園および移行時期については、 <u>いつでも保護者の方に知らせる予定ですか。</u> また、指定された法人が、いつ引き継ぐのかを教えてください。	<u>本来であれば、新規申込の時期に移行園をお示ししたかったですが、新型コロナによる緊急事態宣言によって、説明会の開催が大幅に遅れしまい、その影響でお示しできませんでした。</u> <u>可能であれば、今年度中に移行園・移行時期を表明できればと考えております。</u> 指定される法人については、公募をおこなって、決定後に再度お知らせします。 また、引継ぎ時期については、決定から移行までの間に時間がありますので、移行開始する前年度においては、最低でも半年ほどの引き継ぎ期間を設けて、何名かの引継先の保育教諭と一緒に子供たちを保育しながら、可能な限り保護者の不安を解消して移行していければと考えております。